

【13】

テーマ「人間関係づくり」

タイトル「保護者としてどうする？」

【学習のポイント】

○いじめの未然防止や解決につなげていくために、保護者が出来ることを主体的に考えるとともに、日々実践しようという意欲を高める。

【すすめ方（90分）】

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	10 (4) (6)	<p>1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。</p> <p>①ファシリテーター自己紹介 ②研修の目的、本日の流れの説明 ③話合いのルールの確認</p> <p>2 アイスブレイクをする。 「ペア・コミュニケーション」</p> <p>①ルールの説明する。 ②ペアになり、話す役・聴く役を決める。 ③お題をもとに自己紹介を含めて順番に話す／聴く。 お題「子どもの頃に食べた給食で心に残っているメニューは何ですか？」</p>	<p>■本研修会のねらいや進め方について説明します。</p> <p>■ルールの参加・尊重・守秘について説明します。</p> <p>■「話す役」は1分間お題について話します。</p> <p>■「聴く役」は相手の話をしっかり聴きます。</p> <p>■各班全体で同時に進めていきたいので、時間はファシリテーターが計ります。途中で役割を交代しないでください。</p>	<p>◆レジュメに、研修の目的、学習の流れを記載する。</p> <p>◆ホワイトボードに話合いのルールを書いて(貼って)おく。</p> <p>◆あらかじめ、班の数は均等(3の倍数)になるようにし、事例を貼った模造紙をグループに配布しておく。</p>
展開 1	10 (3) (7)	<p>3 チェックシート「これっていじめ？」について考える。</p> <p>①資料について個人で考える。</p> <p>②記入したことについてグループで話し合う。</p>	<p>■一人ひとりの「いじめ」に対する考え方、捉え方には違いがあります。資料『これっていじめ?』を読み、もしあなたがこのような場面に出会った時、どう考えるのかチェックしてみてください。</p> <p>■考えたことについてグループで意見交換をしてみましょう。</p> <p>■次はみんなで1つの事例について考えてみましょう。</p>	<p>◆資料「これっていじめ?」を配布する。</p>

<p>展開 2</p>	<p>40 (2)</p> <p>(15)</p> <p>(15)</p>	<p>4 事例「保護者としてどうする？」について考える。</p> <p>①事例「保護者としてどうする？」を貼った模造紙を配布し、ファシリテーターが読み上げる。(関係図を前に掲示)</p> <p>②グループごとの立場(加害者、被害者、傍観者の保護者)になり、どのように行動するかグループで話し合う。</p> <p>③グループで話し合ったことを発表する。</p>	<p>■それぞれの立場としてどのように行動するかグループで話し合います。また話し合ったことは模造紙に書きましょう。</p> <p>■同じ立場の別のグループ、また違う立場のグループではどのように考えたのでしょうか。グループで話し合ったことを発表しましょう。また発表されたことは模造紙に記録(メモ)し、他のグループで話し合われたことがわかるようにしましょう。</p>	<p>◆グループごとの立場はあらかじめ決定しておく。</p> <p>◆模造紙に直接書きこませる。</p> <p>◆設定時間に応じて発表グループを調整する。</p>
<p>※同じ立場の別のグループ、また違う立場のグループではどのように考えたのかを情報交換(グループで半数ずつ)してもよい。 【情報交換を行う場合のホワイトボード等への記入例】 1.同じ立場の別グループへ(半数・5分) 2.持ち帰り、グループ共有(2分) 3.違う立場のグループへ(残り半数別々のグループへ・5分) 4.持ち帰り、グループ共有(3分)</p>				
<p>展開 3</p>	<p>20 (15)</p> <p>(5)</p>	<p>5 いじめの未然防止等に向けて考える。</p> <p>①「いじめの未然防止や解決に向けて大切にしたいこと(子どもと保護者が一緒に出来ること)」について話し合う。</p> <p>②ギャラリー・ウォーク</p>	<p>■ここまではいじめの対応について考えました。ここからはいじめの未然防止について考えます。テーマ「いじめの未然防止や解決に向けて大切にしたいこと」を考えていただきます。</p> <p>■いじめの未然防止や解決に向けて、大切にしたいこと(子どもと保護者が一緒に出来ること)について大切にしたいと思うことを話し合いながら模造紙に書きましょう。</p> <p>■他のグループで考えたことを見て回しましょう。</p>	<p>◆模造紙に直接書きこませる。</p> <p>◆ギャラリー・ウォークで今後取り組みたいことを決定させるとよい。</p>

ま と め	10 (5)	6 まとめ ※グループで話し合ったまとめをいくつか紹介する。 ※良い話合いが出来ていたこと、考えていただいたことを行動にうつせば、いじめの未然防止や解決に向かうことが出来ることを伝える。	■いじめは重大な人権侵害であり、どんな理由があろうと、「いじめられても仕方がない」人間は一人もいません。 ■「SOSを出していいんだよ」「相談していいんだよ」「一人で抱え込んではいけないよ」ということを絶えず伝え、話しやすい環境や信頼関係を築いておくことが重要です。 ■いじめの未然防止も解決も家庭・学校・地域が良好な関係をつくり、日頃から子ども達の様子をしっかりと見ておくことが大切です。	◆いじている子どもも傷を負っているケースも少なくない。なぜいじめに走ったか、どうすればやめられるか、いじている子どもに対しても共感的に受け止め、一緒に考える姿勢を大切にしたい。
	(5)	7 ふりかえりシートの記入		

【事例】 「保護者としてどうする？」

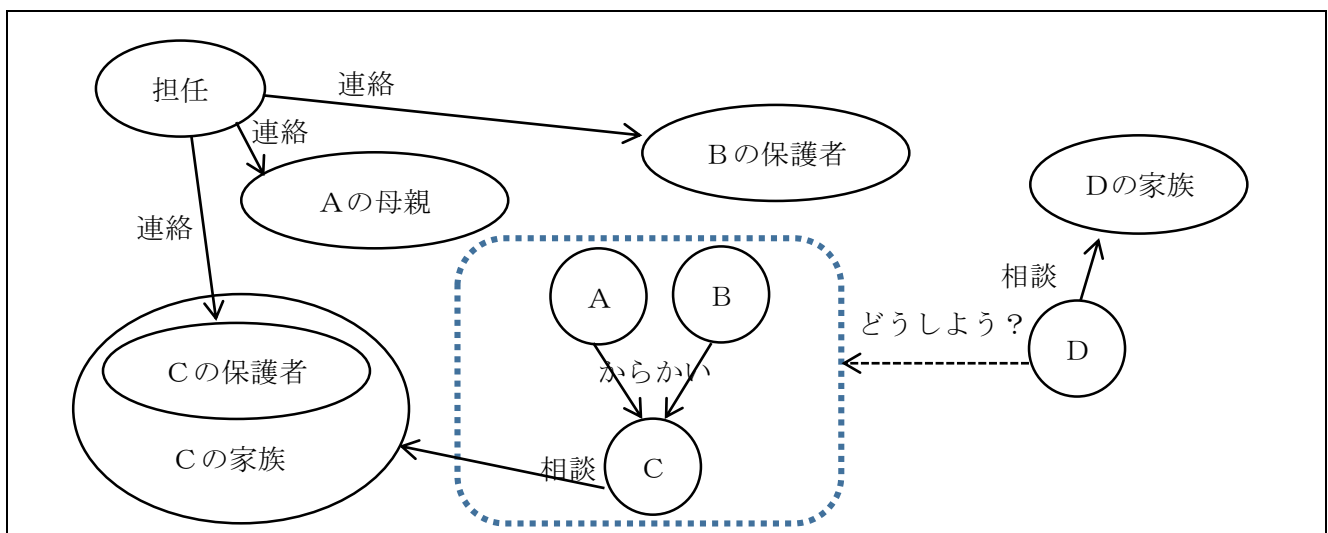
体が小さいことで同級生のA・Bにからかわれている小学校3年生のC。同級生のDは、はじめはまわりと一緒に笑っていたが、最近はこのままでいいのかとCのことが気になり、そのことを夕食の時に家族に話した。

次の日、授業参観後の学級懇談会が終わってからのこと。担任は、AとBがCをからかっているところ見たので注意したとAの母親に話した。また、担任はB、Cの保護者にもこのことをそれぞれに話した。

その日の夜、Cは学校での出来事を思い切って自分から先に家族に話した。

※加害者…A・B 被害者…C 傍観者…D

関係図



～模造紙記入例～

<p>事例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>体が小さいことで同級生のA・Bにからかわれている小学校3年生のC。同級生のDは…</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・○○者の保護者 ※同じ立場の他のグループの意見を記録 ・●●者の保護者 ※違う立場のグループの意見を記録 ・△△者の保護者 ※違う立場のグループの意見を記録
<p style="text-align: center;">「○○者の保護者」</p> <p>～記入例（加害者の保護者）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人に話を聞きます。本当の話なら注意します。 ・「いじめ」という程でもないんじゃない？ ・他の加害者のお家の方と話し合います。 ・被害者のお家の方に謝罪の電話をします。 	<p style="text-align: center;">「いじめの未然防止等に向けて」</p> <p>～記入例～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になることがあったら相談する。 ・子どもの話をよく聞く。 ・学校行事に積極的に参加する。

【チェックシート】

「これっていじめ？」

○以下の場面は、いじめでしょうか？いじめではないでしょうか？

<p>A：特定の子どもの発言に対して「笑う」「ばかにする」言動が見られた</p> <p style="text-align: center;">いじめがある・いじめがない・分からない</p>
<p>B：下校時に友だちのかばんを持っている</p> <p style="text-align: center;">いじめがある・いじめがない・分からない</p>
<p>C：家で学校の様子について話さない</p> <p style="text-align: center;">いじめがある・いじめがない・分からない</p>
<p>D「もしも私がいなくなったら」というような「もしも話」をする</p> <p style="text-align: center;">いじめがある・いじめがない・分からない</p>
<p>E：自分ができなくても友だちに頼む</p> <p style="text-align: center;">いじめがある・いじめがない・分からない</p>